

平成24年12月10日

教員 各位

教育改善推進室長
小田垣 孝

平成25年度PBLを主体とした教育への取り組みに対する支援実施について（公募のお知らせ）

平成23年度から、教育改善推進室では、「学生が主体となって学ぶ」形式を取り入れた、いわゆる「PBLーProblem-Based-Learning 又は Project-Based-Learning」による教育の開発を支援するための予算を確保しています。平成25年度においても、下記の要領で支援対象科目を学内公募することになりました。皆様方の積極的な応募をお待ちしております。

記

1. 趣旨

「大学生の就業力育成支援事業」に関連して、平成24年度から Problem-Based-Learning を主体とした「キャリアワークショップ」科目が開講され、また平成25年度からは Project-Based-Learning を主体とした「プロジェクト科目」がスタートします。既に、このような形式は一部の実験や演習において用いられていますが、多くの教員にとっては未知な部分が多いかと思われます。より効果的な PBL の講義を作り上げていくには、多くの取り組み事例を参考にすることが近道です。

そこで、これから PBL を取り入れていこうと考えている教員や、すでに実践している PBL をさらに工夫しようと考えている科目を対象に、財政的に支援を行い、その実践と成果を学内の関係者と共有し、学生の学びを主体とした教育の推進を図ることを目的としています。

2. 支援対象科目と支援期間等

- ① 支援対象授業科目は、平成25年度前期または後期に開講される講義・実験・演習・実習科目とします。実技科目は除きます。申請者は、個人でもグループでも構いません。
- ② 平成23年度より継続して採択されている科目、または平成24年度に新規に採択された科目については、過年度の実績等を踏まえて、更なる科目内容の充実が期待されることから、平成25年度の採否に際しては特に配慮します。
- ③ 支援期間
採択された支援対象科目については、原則として、毎年度選考の上、前記②を踏まえた上で、最長で3年間継続して支援対象とすることとします。
考え方の一例としては、1年目：準備・試行、2年目：実施、3年目：実施と評価、となります。

3. PBL についての定義・考え方と実践について

一般的に、PBL といいますと、答えのない課題、いわゆる Open-Ended な課題を学生に与え、少人数グループにより、授業時間内学習及び授業時間外学習を通じて学ぶことにより、課題発見能力、課題解決

能力、コミュニケーション能力、協調性、発表能力等を養う形式を指します。

しかし、今回の学内公募は、こうしたPBLの一般的な考え方に捉われず、例えば、「答えが予めわかっている課題」や、「現在行っている授業形式の一部」をPBLの手法を用いて実施するような試みについても推奨いたします。

その他、授業全ての回をPBLで行わないが、「一部の回でPBL手法を用いている講義」や「PBLの手法を試行的に取り入れる講義」なども支援の対象といたします。

4. 募集期間

平成24年12月10日（月）～平成25年1月31日（木）（17時、締切厳守）の期間で募集いたします。応募する方は、指定の応募用紙により、学科長（または学系長）の承認を得た上で、募集期間内に教育改善推進室宛にご提出ください。併せて電子ファイル（wordまたはpdf形式）でもご提出下さい。（申請書提出先電子メールアドレス：pbl@jim.dendai.ac.jp）

申請書並びに本文書につきましては、総合メディアセンターが管理しているファイル管理システム「Xythos（ザイトス）」上の次のURLにて配布しておりますのでご利用下さい。共通パスワードによる認証があります。

https://fs.ms.dendai.ac.jp/xythoswfs/webview/_xy-51291_1

（申請書の電子ファイルは、教育改善推進室のメールアドレス（pbl@jim.dendai.ac.jp）宛てにご請求いただいても、折り返し送付いたします。）

本件に関するお問い合わせは、上記宛のメールまたは、電話（内線：東京千住 70-6402）までご連絡下さい。

5. 選考結果の通知について

支援対象となる授業科目の選考は教育改善推進室で行い、選考結果の通知は平成25年2月中旬（予定）に申請者（または申請代表者）全員宛に電子メールにて行います。

6. 支援内容

1件当たり10万円～20万円を交付する予定です。なお、予算は、平成24年度と同様に、各学部事務部の「授業運営」関係の予算項目に新規に「PBLに係わる経費」として配分します。

7. 報告

実践成果の共有を目的としていますので、支援対象者には必ず報告会において発表をしていただきます。時期としては採択された年度の3月上旬～中旬頃を予定しております。併せて、成果報告書を年度末までにご提出いただきます。特に複数年度支援を受けた科目については、単年度のみならず、支援を受けた期間全体を踏まえた上での報告書作成をお願いします。

以 上